

航空機装備品ソフトウェア認証技術 イニシアティブ

～航空機装備品認証の技術基盤構築に向けて～

イニシアティブ設立の経緯

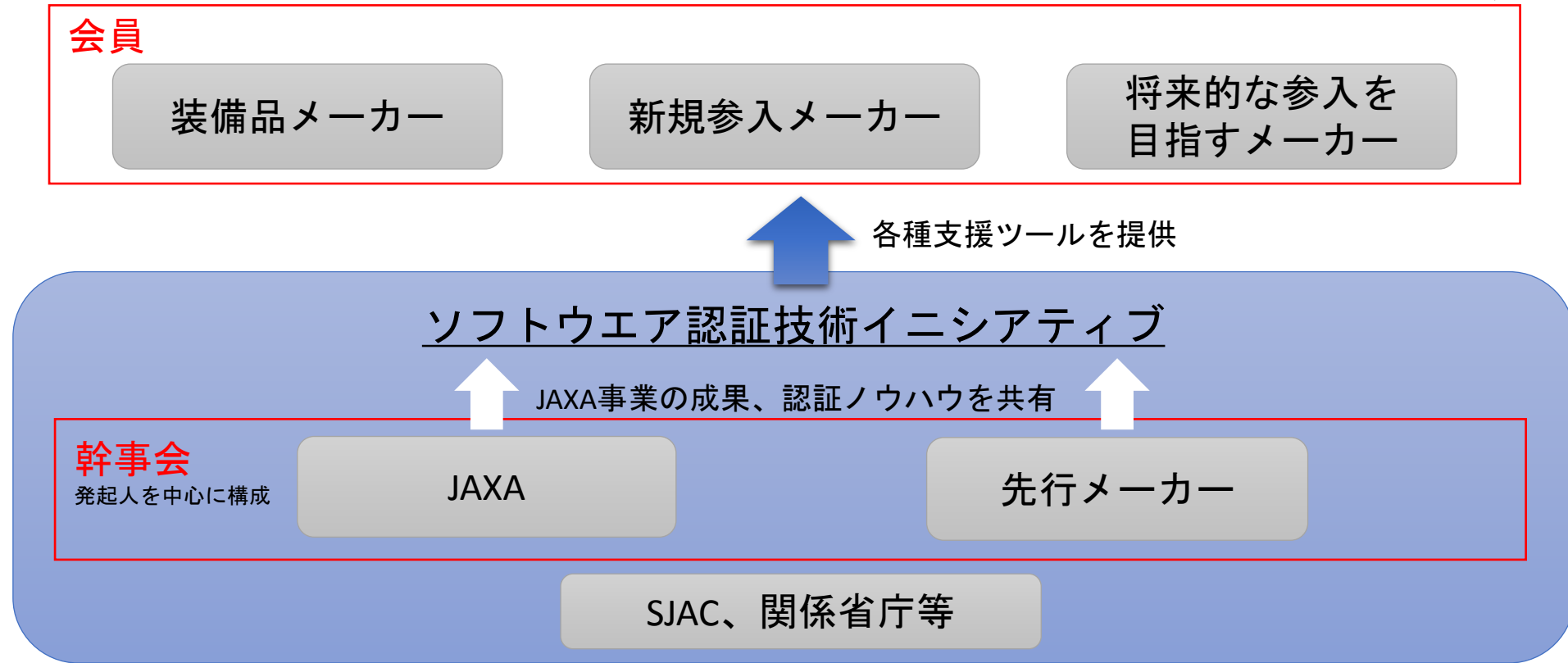
- 「航空産業ビジョン」（平成27年12月関係省庁会議決定）および「研究開発計画」（平成29年2月計評分科会）において、装備品分野の強化と産業の育成や、認証について産業界と連携した研究開発などの重要性が示されています。
- さらに、経済産業省や日本航空宇宙工業会（SJAC）等の研究会やワーキンググループでは、特に装備品開発におけるソフトウェア認証技術の重要性と必要な取り組みが示され、将来的には共通基盤情報やノウハウを共有するコンソーシアム等の枠組みも必要とされています。
- これらを受け、JAXA航空技術部門の研究事業として装備品、特にアビオニクスの研究開発を進めるとともに、この研究開発を通じて得られるソフトウェア認証技術を装備品ソフトウェア認証の共通基盤として構築する活動を企画・検討しているところです。
- この取り組みの一つとして、ソフトウェア認証に必要な認証基盤構築の先鞭を付ける観点で、今回、JAXAと装備品メーカー等5社（MHIエアロスペースシステムズ株式会社（MASC）、シンフォニアテクノロジー株式会社、住友精密工業株式会社、多摩川精機株式会社、東京航空計器株式会社）が発起人となり、イニシアティブを共同で設立するものです。

イニシアティブの目的・体制

JAXAのアビオニクス関連技術を始めとするコア技術やハブ機能を活用し、先行する装備品メーカー等との連携により、認証取得に必要なノウハウや情報を蓄積、共有する「**航空機装備品ソフトウェア認証技術イニシアティブ**」を設立。



ソフトウェア認証活動を支援することにより、航空産業の発展に資する。



イニシアティブの事業

➤ ソフトウェア認証に必要なデータや情報の整備・提供

ソフトウェア認証規格（DO-178C及び関連する安全・開発保証規格ARP等）に関連する情報や知見を蓄積し、標準ライブラリやドキュメントテンプレート、チェックリスト等を整備・提供する。

➤ トレーニングの提供

ソフトウェア認証規格関連技術の入門／実践トレーニングコースを設け、会員のニーズに合わせたトレーニングを提供し、技術者を育成する。

➤ 各種支援ツールの整備と試用サービスの提供

会員が装備品の開発初期段階で使用する開発支援ツールの選定及び実践的な設計手法の獲得・習熟をサポートするため、ソフトウェア認証取得に必要な支援ツール（DOORS等）を整備し、その使い方のトレーニングと試用サービスを提供する。

➤ ソフトウェア認証規格の技術テーマに関するワーキンググループの開催

DER（設計開発上の米国連邦航空局の審査業務等を代行できる資格者で認証に関するスペシャリスト）の間で議論し尽くされていない認証規格等の技術テーマについてワーキンググループで検討し、技術者を育成するとともに日本の統一見解をまとめ国内外に発信する。

➤ 海外機関との連携

認証規格の技術テーマに関する統一見解について海外の認証機関との議論の実施やトレーニング機関との連携を図り、日本国内で認証活動を円滑に進められる環境を整備する。

➤ シンポジウムの開催

イニシアティブの活動紹介や関連技術の情報発信を行う。

➤ 会員間の連携強化の方策検討

将来的な産業界主導のコンソーシアム等への活動の引き継ぎに向けた連携体制強化や事業方策を検討する。

イニシアティブへの入会方法

➤ 会員資格

民間航空機産業に参入もしくは参入を検討している企業等で、本イニシアティブの活動に積極的に参加する意志を持ち、別途送付する規約に同意される方。

➤ 入会方法及び本件へのお問い合わせは・・・

下記のメールアドレスまで、連絡先を明記した電子メールをお送り下さい。
折り返し、入会申請書、募集要項、規約をお送りいたします。

件名欄に「イニシアティブ入会申請」または「イニシアティブ問い合わせ」と記載して下さい。

入会申請書入手・イニシアティブに関する問い合わせ先

航空機装備品ソフトウェア認証技術イニシアティブ事務局

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構航空技術部門 次世代航空イノベーションハブ

MHIエアロスペースシステムズ株式会社

メール：sobihin-info@chofu.jaxa.jp